

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
54321	スポーツ施設管理事業	教育委員会	体育振興係	向山 光	有賀 誠
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2505
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1088	スポーツ公園管理事業
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実
		項[基本施策]	(コード選択)	3項	生涯スポーツの振興
		目[主な施策]	(コード選択)	2目	スポーツ施設の整備
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

スポーツ施設利用者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

スポーツ施設利用者が安心して快適に使用できる施設を提供する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	スポーツ施設を開放スポーツに親しんでもらう。
2	スポーツ施設の管理、整備、修繕を行い、安全に快適に利用してもらう。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	スポーツ施設開放日数	日	359	360	359	1.00	359
	説明	町内スポーツ施設開放日数	目標値設定の根拠	条例で定められた利用日数を設定。				
②	指標名	町内スポーツ施設数	箇所	20	20	20	1.00	20
	説明	担当係で管理等をしている施設(学校夜間開放施設含む)	目標値設定の根拠	H22現在のスポーツ施設数				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	年間利用人口	人	82,207	80,663	100,000	0.81	100,000
	説明	体育施設(学校体育施設を除く)を利用した年間延べ人数(マレットゴルフ利用者を除く)	目標値設定の根拠	年間100,000人以上を目途に設定				
②	指標名	荒神山スポーツ公園施設の修繕に要した費用	千円	1,238	1,990	1,238	1.61	1,238
	説明	施設修繕費(工事を除く)(決算書資料)	目標値設定の根拠	軽微なうちに修繕(目標額H22費用)				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み						
対前年比	%		126.3	113.4						
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		10,700	6,579	5,800						
B)一般財源(税金)		29,854	44,638	52,278						
①事業費	(千円)	37,742	45,000	51,877						
対前年比	%		119.2	115.3						
②人件費の概算	(千円)	2,812	6,217	6,211						
対前年比	%		221.1	99.9						
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24				
町職員(正規職員)		0.01 0.04 0.04	0.12 0.41 0.41	0.00 0.00 0.00	0.25 0.41 0.41	0.38 0.86 0.87	2,812	6,217	6,211	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない →
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

修繕を要する施設については、早期に現場を確認・修繕を行っている。
 (施設被害が大きくならないうちに)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

大きな工事については施設点検を行い、町の実施計画に基づき行っていく。
 軽微な修繕については、早期に改善を行う。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

実施計画に登載。

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

施設の利便性の維持と安全確保のために、改修・修繕を計画的に行っていく。
 使用不能となっている施設(弓道場、はくちょう等)のあり方を含めて、体育施設のあり方全体の検討を進める。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択